

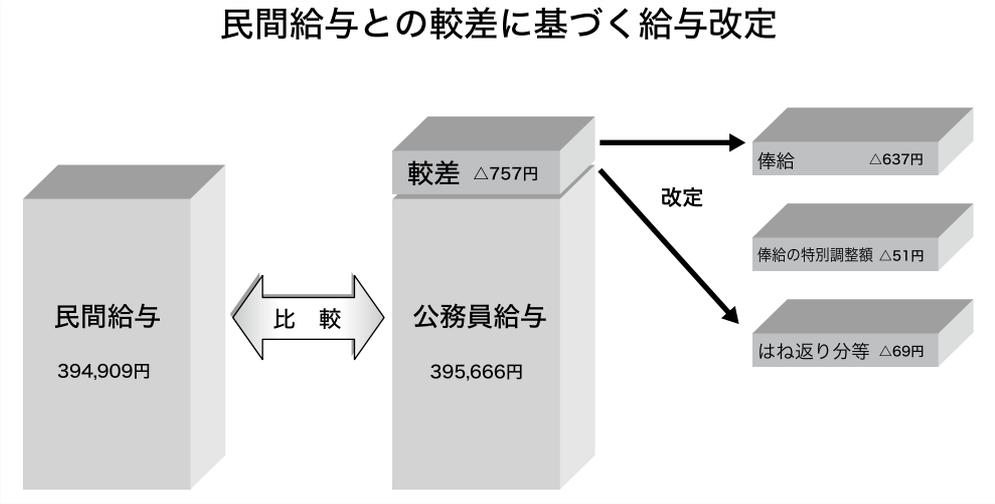


全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

2010年人勸 月例給 一時金 2年連続マイナス勧告

55歳台後半層減額を強行

人事院は8月10日、2010年の給与勧告を実施した。今年の勧告は昨年に引き続き、月例給・一時金とも削減となり、厳しい勧告となった。この勧告により国家公務員の年間給与は平均で9・4万円の減額となる。



月例給△0.19%△757円△一時金0.2月

2010年人事院勧告のポイント

- 本年の給与改定
 - 月例給 較差 △0.19% (△757円)
 - 55歳を超える職員 行政職(一)表の6級以上相当の職員 俸給・俸給の特別調整額(管理職手当)の支給額に1.5%を乗じた額を減額して支給
 - 他の給料表 研究職5級以上、海事職4級以上、医療職(2)(3)6級以上
 - 中高年齢職員(40歳台以上) 俸給表を平均0.1%引き下げ改定
 - ①②のいずれも人材確保のため、医療職(一)表は除外
 - ①は一官一給与のため、指定職(事務次官等)を除外
 - ②の指定職は0.2%引き下げ、他給料表は行政(一)の均衡を考慮して引き下げ
 - ①の該当者は、平均0.1%引き下げた俸給表の額にさらに1.5%を乗じた額を減額して支給
 - 給与制度見直しにおける現給保障者の俸給月額が99.59%を乗じた額に引き下げ。なお、①の対象職員は99.59%を乗じ、さらに1.5%を乗じた額を減額して支給
 - 年間給与の調整
 - 俸給表の改定がある者と経過措置対象者に対して、昨年と同様に制度調整方式より、12月期末手当において調整を実施(調整率0.28%)
 - 給与制度見直しに係る措置
 - 給与制度見直し後の昇給号俸の抑制措置を4年間実施してきたが、若年・中堅層(43歳未満)の職員について、平成23年4月に1号俸回復
- 一時金
 - 民間の支給割合 3.97月(公務の支給月数4.15月)
 - 期末・勤勉手当を年間0.2月引き下げ 4.15月→3.95月

	期末手当	勤勉手当	合計
22年度	6月期 1.25月(支給済)	0.7月(支給済)	1.95月(支給済)
	12月期 1.35月(現行1.5月)	0.65月(現行0.7月)	2.0月(現行2.2月)
23年度	6月期 1.225月	0.675月	1.9月
	以降 12月期 1.375月	0.675月	2.05月

上記の実施時期 法公布日の翌月施行
- 来年の給与改定(2011(H23)年4月1日施行)
 - 時間外勤務手当の割増率 月60時間を超える時間外勤務手当の積算に日曜日又はこれに相当する日の勤務時間を含める。
- 非常勤職員制度の改善
 - 育児休業等の取得について、育児休業法改正の意見の申出を行うほか、介護休業制度の導入についても措置。

人事院勧告無視の削減は許さない

今年の人事院勧告は、今年4月時点での民間給与実態調査に基づき、月例給が検討された。しかし、春闘における民間給与の引き上げ幅よりも、国家公務員の平均年齢の上昇に伴い、給与引き上げ幅の方が拡大しているため、昨年に引き続きマイナス改定が検討された。また、一時金についても、昨年1年間の民間支給月数が0・7月から0・8月と大幅に引き下ったことから、公務員一時金も昨年冬分が影響するため、厳しい状況の中で交渉が進められた。特に最低でも4月を下回らないようにと重点的に交渉が進められた。さらに、50歳台職員の民間賃金との大きな逆差を理由に、56歳以上の職員について、俸給表の金額を定率で減額するという極めて問題のある見直しを行うとしていた。特に50歳台後半層の給与措置に対しては、職務給の原則や2006年給与制度見直しの基本的な考え方から、給与制度の根柢が揺らぐ。道本部と

新たな給与決定方式も展望

今後は勧告を受けて、9月10日の政令市・都道府県の人事委員会勧告のたたき、11月の賃金決定闘争へと賃金闘争が続いていく。道本部としては早期に闘争体制を確立し、賃金担当者会議等で意思統一しながら、取り組みを進めていく。今回の厳しい勧告内容、決定的な取組んで行かなければならない。

人事院勧告は道本部ホームページで見よう

自治労北海道 検索

〔単組組合・組合員専用〕ページで『人事院勧告』の記事や、資料などを見ることができます。

ユーザー名・パスワードは↓スケジュール下でご確認下さい

JICHIRO スケジュール	
2010年8月	
23日(月)	道本部第25回執行委員会(札幌市) 第21回地域政府と政策を考える研究会(札幌市)
24日(火)	道本部第6回拡大闘争委員会(札幌市) 自治労共済北海道支部運営委員会(札幌市)
26日(木)	第82回自治労定期大会(～27日、徳島市)
28日(土)	町村連第4回幹事会(札幌市)
2010年9月	
4日(土)	第32回全道自治体職員等女子バレーボール大会(～5日、旭川市)
道本部ホームページ	
自治労北海道	ユーザー名:douhonbu
組合員専用ページは	パスワード:jichi2009

自治労北海道本部 第51回定期大会

9月28日(火) 8:30 受付
9:00 開会
9月29日(水) 9:00 再会
17:00 閉会

ホテルポールスター札幌
札幌市中央区北4条西6丁目

二重の削減許さない



地公三者 道人事事委員会と交渉

地公三者は8月3日、道人事事委員会との交渉を実施し、6月22日に提出した要求書に対する考えを質した。勧告については「人勸の内容や他都府県の動向に留意し、検討を進める」と述べ、50歳台後半層の給与の取り扱いについても同様の回答にとどまった。このため、地公三者は「月例給、一時金、手当の継続的引き下げと独自削減との二重の削減で職員・家族の生活は限界にきている。職員の生活をふまえた主体性のある姿勢を示すべき」と、労働基本権規約の代償機能としての役割を果たすよう重ねて申し入れた。

「廃用症候群」って聞いたことありますか?「廃用症候群」とは、寝かせきりなどの状態で起こる機能低下。赤ちゃんは寝て育つが、高齢の健康な人が体を動かさないと筋肉の萎縮、関節の拘縮が急激に進む。一度低下した筋力を回復

朝風

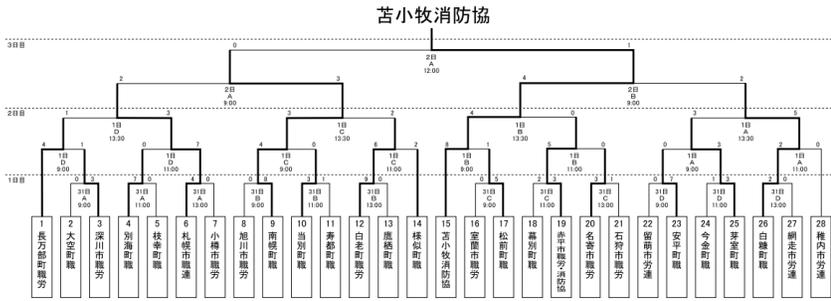
させるには、かなりの時間が必要だ。たとえば、1日間の安静で生じた体力低下を元に戻すには1週間。1週間なら1ヵ月。だから日々の安静は必ずしも良くない。高齢化社会に挑むには、体を動かし健康な体を作ることが心がけよう。

本号の紙面

- 2面 不戦の日 8.15北海道集会 桜庭康喜さん「消えたマチ 生まれたまち」
- 3面 第44回自治体職員等野球選手大会
- 4面 全国保育集会・職場だより

第44回全道自治体職員等野球選手権大会 試合結果

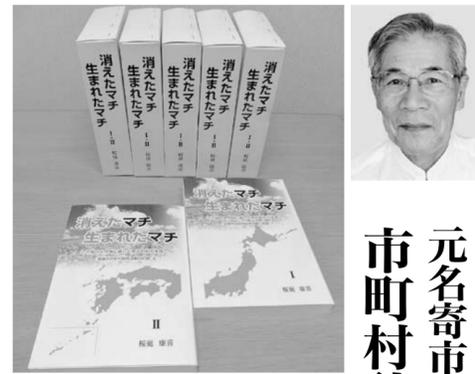
A 大沼球場	稚内市大字東照村野球場
B 大沼球場第2球場	稚内市大字東照村野球場
C 香里台球場	稚内市香里台1丁目 香里公園内
D 市営球場	稚内市藤本4丁目 みの公園内



7月31日(8月2日、稚内市・大沼球場をメイン会場に)第44回全道自治体職員等野球選手権全道優勝大会が開かれ、地方本部予選大会で勝ち抜いた28チームが参加した。全道100チームの頂点に上り詰めたのは、昨年、苦小牧市職員に敗れ涙を呑んだ苦小牧消防協が初優勝し、南幌町職が準優勝となった。9月11日から香川県で行われる全道優勝大会には、昨年全道優勝した、苦小牧市職労と苦小牧消防協が参加する。

第44回自治体職員等野球選手権大会 全国優勝大会は苦・苦

消えたマチ 生まれたマチ



元名寄市長 桜庭康喜さんがつづる 市町村訪問記(2500円)

元名寄市長の桜庭康喜さんが「消えたマチ 生まれたマチ」平成の大合併に携わった市町村の本音を刊行した。桜庭さんが8年6月かけて、全国3128自治体を歩いた訪問活動記録。「はじめに」により「抜粋」現職時代、全国の先進的な施策を推進している多くの市町村の事例を学ぶことができる。学べば学べば「本来の自治体のあるべき姿は、マスコミなどで派手に報道される姿」ではなく、この地を終の棲家と定めた住民が地道に生き生きと元気に活動できる「コミュニティ」を形成する姿で、時代を超越した「住民の主体的なコミュニケーション」活動にあるのでは、との考えが強くあった。無事現役を終えた時、全国の市町村を訪問し、自らの考えを検証する活動を「ライフワーク」としたい、と凜然とした夢を描いていた。

※各自治体単組に1冊送付しました。活動の参考にご利用ください。それ以外の購入は北海道地方自治研究所にお問い合わせください。TEL 011-7471-4666

不戦の日 8.15 平和への思い新たに

8月15日、札幌市かでの2・7で北海道平和運動フォーラムと戦後60年北海道行動実行委員会が主催する「不戦の日8・15北海道集会」が開かれ約1500人が参加した。戦後65年を迎える節目の年に、平和への思いを新たにしたい。

北海道平和運動フォーラムの江本代表は「65年経過し戦後恐怖が風化しないように、この集いを継続することは重要なことだ」とあいさつした。また「昭和」を書いた作家・半藤利幸の言葉を紹介した。半藤さんは、太平洋戦争はなぜ起こったかについて多くは軍部の暴走だと言われているが、それを止められなかった政治

戦争のない時代築くために撮る

講演は、「辺野古を考える」は、今も戦争の国と別な道を行くべきだ。アメリカでは毎年15万人の若者が兵士となり、軍隊に入れば大学に行けるなど貧困層がターゲットになっていると指摘した。講演は「海兵隊、沖繩、辺野古をテーマに、アメリカと自衛隊が一体化していることをよく考えてほしい」と訴えて、辺野古の新基地について「アメリカの出撃拠点として機能強化され、日本の若者が戦争に行くことがないように、沖繩の思い、おはあは、反対運動を続けている」と話した。

また、影山さんは、日



右が監督の藤本幸久さん、左がプロデューサーの影山あさ子さん = 8月15日、札幌市・かでの2・7

「辺野古を考える」全国キャラバン

藤本幸久さんが撮影した、辺野古、沖繩・海兵隊をテーマにした4本の映画と最新の映像レポートを背おって、全国をまわっています。(12月まで)

森の映画社 自主上映(上映素材の貸し出しをしています)

苦小牧消防協が初優勝



【決勝試合結果】 苦小牧消防協・山田投手 南幌町職・伊藤投手の二塁として松本選手が先発で始まった。苦小牧は2回、先頭の後藤選手に走者を進めながら追加点はならず。中間三塁打を打ち先制した。続々4・5回も得点圏に走者を進めながら追加点はならず。

優勝した苦小牧消防協チーム=8月2日、稚内市・大沼球場

南幌町職	0000000000	0
苦小牧消防協	010000000x	1

◇決勝 ◇開始 12:00 ◇終了 14:30 ◇稚内大沼球場



準優勝した南幌町職チーム=8月2日、稚内市・大沼球場



苦小牧消防協と南幌町職の決勝戦

忘れられない場所「稚内」

個人賞

勝利監督賞 小杉 豊一さん (苦小牧消防協)

ダイヤモンド賞 後藤 優也さん (苦小牧消防協)

仲間がひとつになった

打撃賞 寒河江宏樹さん (苦小牧消防協)

殊勳賞 松本 康太さん (苦小牧消防協)

敢闘賞 伊藤 文敏さん (南幌町職)

最優秀選手賞 山田 耕司さん (苦小牧消防協)

全日本自治体職員等スポーツ大会2010in香川

2010.9.11(土)~13(月) 香川県高松市・さぬき市

第26回野球選手権全国優勝大会/北海道出場チーム=苦小牧職労と苦小牧消防協

第32回全道自治体職員等女子バレーボール大会

9月4日(土)~5日(日) 全道13チームが参加

旭川市・忠和公園体育館 鷹栖町総合体育館

一スウェーデンの障がい者福祉に学ぶ PARTII 「障がい者(患者)から市民へ」 —2001~10年の歩み—

とき 2010年9月5日(日) 10:30~16:30

ところ 自治労会館5階大ホール 北区北6条西7丁目

第1部 10:30~12:00 重症児者にかかわる団体・事業所報告 —パネル展示・販売・情報提供—

第2部 13:00~16:30 報告と講演の集い (1)札幌の取り組みの報告 (13:00~14:30) 「障がい者(患者)から市民へ」 —2001~10年のスウェーデンの歩み— 通訳・解説 ハンソン友子さん

参加費1,000円(前売900円、学生割引500円) 実行委員会 TEL 011-770-5960

後援 札幌市・札幌市社会福祉協議会・北海道理学療法士会・北海道作業療法士会・自治労北海道本部ほか

自治労北海道本部第51回定期大会事前会議

会議名	日時	場所
青年部幹事会	9月10日(金)13時~12日(日)13時	自治労会館3階役員会議室
青年部総会	9月11日(土)13時~12日(日)12時30分	自治労会館5階大ホール
女性部幹事会	9月17日(金)13時30分~18日(土)12時	自治労会館3階役員会議室
女性部総会	9月18日(土)13時~19日(日)12時	自治労会館5階ホール
衛生医療評議会幹事会	9月18日(土)11時~12時	自治労会館4階第5会議室
衛生医療評議会総会	9月19日(日)9時~12時	自治労会館3階第1会議室
公共民間労組協議会幹事会	9月11日(土)13時30分~15時	自治労会館3階第1会議室
公共民間労組協議会総会	9月11日(土)15時~17時	自治労会館3階第1会議室
社会福祉評議会幹事会	9月26日(日)10時~12時	自治労会館3階役員会議室
社会福祉評議会総会	9月26日(日)13時~17時	自治労会館3階役員会議室
現業公企評議会幹事会	9月26日(日)10時~18時	自治労会館3階中ホール
現業公企評議会総会	9月27日(月)9時~18時	自治労会館5階大ホール
消防協役員会	9月26日(日)13時~17時	自治労会館4階第5会議室
消防協総会	9月27日(月)10時~17時	自治労会館4階ホール
都市連絡会議幹事会	9月27日(月)10時~12時	自治労会館3階第1会議室
都市連絡会議総会	9月27日(月)13時30分~17時	自治労会館3階第1会議室
町村連絡会議幹事会	9月27日(月)9時~12時	自治労会館4階第5会議室
町村連絡会議総会	9月27日(月)13時~17時	自治労会館3階中ホール

当事者の思いを支えよう

「子どもは主権者、21世紀の保育は地域から！」をメインスローガンに、自治労第31回全国

保育集会在、7月30日、8月1日、猛暑の和歌山市で開かれた。全国から1,500人(北海道14

単組29人)が参加した。集会は、地元アトラクションの奥熊野太鼓で幕を開け、保育をめぐる状況の課題整理と、問題解決に向けた議論を目的に

行われた。初日は、「ナショナルミニマム」などの基調報告、反貧困ネットワーク事務局長の湯浅誠さんが「貧困とナショナルミニ

マムを語る」をテーマに「貧困は貧乏と孤立。それをなくすしくみをつくらう」と講演した。公開シンポジウムでは、「当事者の思いを支えるしくみをつくらう」をテーマにデスカッションした。

集会2、3日目は分科会に別れ、テーマごとの課題への議論を深めた。をみつめ直す良い機会となりました。全体講演では、今回のテーマでもある「ナショナルミニマム」について、私たちは大事な仕事に携わり、一番身近なところで、その権利を保障していかなくてはならない立場でもあることを実感しました。

分科会では子どもひとりひとりの育ちを大切に、発達を見つめ直すことを考え、自分の保育

を見つめ直す良い機会となりました。全体講演では、今回のテーマでもある「ナショナルミニマム」について、私たちは大事な仕事に携わり、一番身近なところで、その権利を保障していかなくてはならない立場でもあることを実感しました。

分科会では子どもひとりひとりの育ちを大切に、発達を見つめ直すことを考え、自分の保育

を見つめ直す良い機会となりました。全体講演では、今回のテーマでもある「ナショナルミニマム」について、私たちは大事な仕事に携わり、一番身近なところで、その権利を保障していかなくてはならない立場でもあることを実感しました。



ナショナルミニマムキャンペーン
自治労は、子どものためのナショナルミニマム(最低基準)の改善について、連合・子育て取り組み組んでいる。特に「子ども・子育て新システム」の詳細設計への対応や最低基準問題について、連合「子育て基金」実現の取り組みと連携して取り組んでいる。

参加者の声
保育見つけ直す良い機会



土別市職労 山上いづみさん
今回の全国集会では、日々の保育に追われる中、じつくりと子どものことを考え、自分の保育

小樽市職労 前田春香さん
暑い、熱い和歌山は、奥熊野太鼓の重くスシンとくる鼓動が始まり、小樽潮太鼓保存会の一員でもある私にとっては、さ

すが世界遺産の地ならではの響きだと、神聖な気持ちになりました。分科会では、「食育」に参加し、戦後の歴史とともに食品や電化製品の変遷、孤食の増加や食卓の変化など、現代社会における現実的な問題や課題に気づかされました。

3日目の「体育遊び・カトちゃんクラブ」は、体を動かすことが何より好きな私は、ノリノリで楽しみました。すぐにも保育現場で生かしたいです。和歌山、最高!!

第33年次自治研全道集会
とき 9月10日(金)13時～11日(土)12時まで
場所 厚沢部町保健福祉センター
基調講演 「地域主権について」
講師：逢坂誠二衆議院議員(内閣総理大臣補佐官)
パネルディスカッション 『地域主権』と北海道の自治

ビックなライスバーガーで地域交流



【空知地本発】沼田町職は、地域への貢献を目標に、ボランティア活動など、町内の農協青年部や商工青年部と連携し地域交流に関する事業に積極的に参加しています。

この取り組みは、沼田商工青年会議所が創立60周年を迎えたことを記念に、町内の食材と合わせてPRしようと考えたものです。米や野菜は農協青年部の協力で提供を頂き、沼田町の和牛を利用し、60周年にちなんで60cmのライスバーガーを作りました。

また、この他にも、年越しイベントなども連携の青年部と交流し、組合

の団結を深めて今後も活動していきます。(沼田町職員組合青年女性部書記長・二戸邦仁)

「いこいの広場」で作製した60cmのライスバーガーと部員=7月30日

【樽山地方本部発】7月31日、樽山管内厚沢部町で9月10、11日に開催される第33年次自治研全道集会に向けて、樽山地本実行委員会第2回会議を開きました。

今回の実行委員会では、「総務班」「会場班」「宿泊班」「交流班」の4班を編成し、それぞれの担当を決めました。その後、厚沢部町職を中心に全体の仕切り、会場案内図、宿泊施設最寄りマップ、2次会マップづくりの準備を進めてきました。

今回は、それぞれの進捗状況について事務局から説明し、当日の受付の段取りや、使用会場の事前準備、全体集会と交流会の会場設営や内容、また、司会進行の段取り、アトラクションの内容や、後片付けに至るまで、詳細に打ち合わせました。

最終的には、前日の9月9日に各班が集合して、会場設営することが確認される組合員の皆さまを

お迎えするために、準備万端揃いつつある現状です。一人でも多くの組合員のご参加をお待ちしています。(書記長・佐野栄一)

厚沢部町でお待ちしています



自治研全道集会実行委員会=7月31日、厚沢部町

忙中余話

道本部ベビーラッシュの中、我が家にもつい新しい家族ができた。愛犬「しゅん」である。動物を飼うのは初めてだったので、愛犬の気持ちを探ろうと、ために専門雑誌を読みました。誰がどうやって犬の気持ちを聞いたか知らないが、いろんな気持ちが書いてある。へえなるほど。犬が一番可愛く見えるは、あくまでも参考に。(実際可愛いのだ)。

毎朝「一緒に連れてって」と言わなければならぬ寂しげな目にも、お互いを理解し尊重し合うにはコミュニケーションが大切だ。動物も人間も、職場で家に帰ると「待ってた」(高山智子)